

2019.4 — 2020.3
ARCHIVE of hacchi



hacchi

2019.4 — 2020.3
八戸ポータルミュージアム はっちの歩み

目次

【中心市街地賑わい創出事業】

イベント連携事業.....	1
ライブ러리事業.....	2
はっちのゴールデンウィーク2019.....	3
はっちの七夕2019.....	5
はっちのお化け屋敷.....	6
はっちのクリスマス2019.....	6
はっちのお正月2020.....	7
まちぐみ事業.....	8

【文化芸術活動支援事業】

はっちプロジェクト ^{ダシジン}	9
和 ^{おひ} 日カフェ～日本文化に親しむ日～.....	10
酔っ払いに愛を2019～横丁オンリーユーシアター～.....	12
2019春 板橋文夫 古希祝 東北ツアーライブ 板橋文夫 FIT!.....	13
はっち8周年企画 大島亜佐子展「縫いものがたりたち」.....	13
はっち8周年企画 Co.Ruri Mito ダンス公演.....	14
田上パル「Q学」公演.....	14

【市民活動支援事業】

第八回はちのへ演劇祭.....	15
ストリート投げ銭ライブinはっち.....	16
はっちがずっぱど南部弁.....	17

【ものづくり支援事業】

はっち市2019～はっちがちっちゃな街になる～.....	18
ものづくりスタジオ.....	20

【観光振興・FMアクセス事業】

お祭りinはっち2019(八戸三社大祭連携事業).....	21
えんぶりinはっち2020(えんぶり連携事業).....	22
全国路地サミット2019in八戸.....	23
オリジナルてんぽせんべい作り.....	23
市民作家・はっちサポーター(ボランティアガイド).....	24

【八戸まちなか広場事業】

マチニワ賑わい創出事業.....	25
マチニワ活用検討市民ワークショップ.....	26
38 Fuud Food MARCHE 2019.....	27
令和元年度八戸市マチニワ活用事業補助金.....	27

【情報発信事業】

はっちリレーショナル・プレスはちみつ.....	28
放送スタジオ「びびすた♪」.....	28

【貸館事業】

市民のみなさんの活動・交流の場.....	29
○2019年度 はっちの自主事業一覧.....	31
○2019年度 はっちの年表.....	32



中心市街地
賑わい創出
事業

イベント連携事業

はっちは、まちなかイベントとともに
中心街を盛り上げます！

「はちのへほコテン」や「八戸七タまつり」、「八戸三社大祭」などの、中心市街地の歩行者天国に合わせ、はっち館内のものづくりスタジオを中心に、館外に出店し、各店舗でイベント限定の商品を提供。また、中心商店街とシーズンイベントを共同で行うことで、多くの方々が立ち寄り楽しめるよう盛り上げた。

○ものづくりスタジオ館外出店

- ・はちのへほコテン: 5月～10月(7月除く)の最終日曜日
2019年5月26日、6月30日、8月25日、9月29日、10月27日
- ・八戸七タまつり: 2019年7月12日(金)～15日(月・祝)
- ・八戸三社大祭: 2019年7月31日(水)～8月4日(日)

○中心商店街との連携

■クリスマスイルミネーション企画

- ・実施日: 2019年12月1日(日)～12月25日(水)
- ・実施: みろく横丁のサンタのパフォーマンスにより、三日町、十三日町、みろく横丁とはっちのクリスマスイルミネーションを12月1日(日)17時に同時点灯した。

■お正月共同事業

- ・実施日: 2020年1月2日(木)
- ・実施: 八戸中心商店街連絡協議会と共同で、マチニワでのお振舞い(甘酒、お汁粉、日本酒)を実施。



ほコテン限定のメニューが登場！



みろく横丁にサンタが登場し、イルミネーションを点灯

ライブラリ事業

本に触れて、知って、楽しもう！

はっちの2～4階に設置されたライブラリ。4階では毎月テーマを決めて選書した月例特集のほか、本にまつわる企画、展示を実施。



■第2回「Book！ブック！こんにちは」

南極地域観測隊員として従事した体験をもとに「南極ではたらく」を出版した八戸市出身の渡貫淳子さんが、南極で考案した「悪魔のおにぎり」の調理体験とトークイベントを実施。

- ・実施日：2019年6月14日（金）
- ・実施：船場修（有限会社ふなば 八戸菓子匠 港むら福）
- ・講師：渡貫淳子
- ・参加者：18名（調理体験）、30名（トークイベント）
- ・料金：1,000円（調理体験）

■和とじ製本オリジナルノートづくり

「本のまち八戸 ブックフェス」内の企画として、日本の伝統的な製本技術「和とじ」によるノートづくり体験を2回実施。

- ・実施日：2019年9月21日（土）
- ・講師：中村勉（株式会社中長印刷 代表取締役会長）
- ・参加者：22名（2回合計）
- ・料金：300円

■第3回「Book！ブック！こんにちは」

南極地域観測隊として従事したことのある鮎川恵理さん、星野保さん、渡貫淳子さんから提供いただいた写真や、国立極地研究所が撮影したオーロラ映像を展示した。

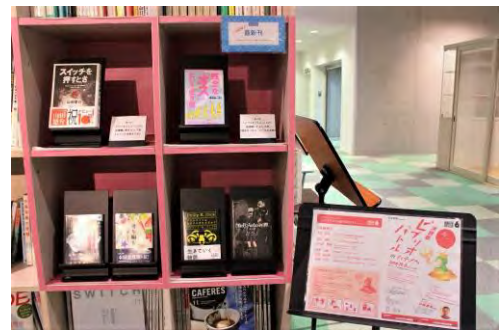
- ・実施日：2019年10月23日（水）～26日（土）
- ・協力：八戸工業大学（鮎川恵理、星野保）、南極OB会青森支部
- ・入場者：約600名

■4階ライブラリの月例特集テーマ

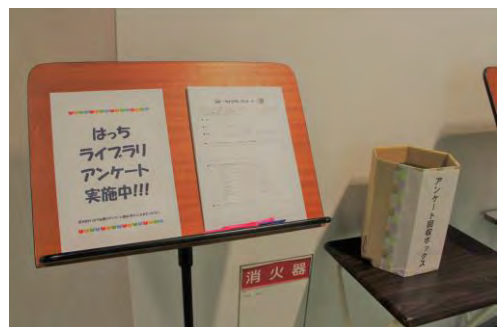
4月 インスピレーション	10月 横丁
5月 おでかけ	11月 クラフト
6月 日本の伝統文化	12月 インドア
7月 おまつり	1月 温泉
8月 絵本	2月 八戸
9月 本	3月 植物

■各フロアのライブラリテーマ（通年）

- 2階：「八戸を知る・日本を知る」
- 3階：「地元の文学者を知る・深める」
- 4階：「アートやデザイン、食やものづくり、画集、雑誌」



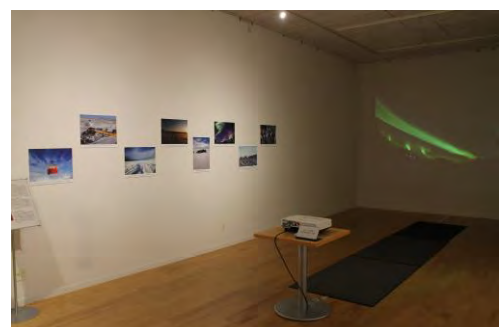
ビブリオバトル開催に合わせ展示変更



定期購読や書籍についてのアンケートを実施



印刷のプロに教わる「和とじ製本」ワークショップ



オーロラ映像が見えるよう、部屋を暗くしての展示



はっちのゴールデンウィーク2019

中心市街地
賑わい創出
事業

「こども×体験」をテーマに実施！

マチニワも加わった

はっちの新しいゴールデンウィーク

市民のみなさんから提供いただいたこいのぼりの展示のほか、スタチューデッサン会、こども演劇体験、消防体験など「こども×体験」をテーマに、バラエティ豊かなイベントとなった。

■眠っているこいのぼりに光を！

昨年度寄付で集まったこいのぼりと、今年度募集したこいのぼりをマチニワに展示。

・実施日：2019年5月1日（水・祝）～6日（月・振）

■こども演劇体験

八戸で活動する劇団まぐねっと.comの劇団員が子ども向けの簡単なワークショップを実施。

・実施日：2019年5月1日（水・祝）

・参加者：8名

・実施：まぐねっと.com

■二科会写真部青森支部写真展

こどもの日にちなんだ作品のほか、各支部員の自信作を展示。

・実施日：2019年5月1日（水・祝）～6日（月・振）

・実施：二科会写真部青森支部

■ニュースポーツフェスティバルinマチニワ

大人も子どもも気軽に楽しめるニュースポーツの体験会を実施。

・実施日：2019年5月3日（金・祝）

・参加者：約610名

・実施：八戸市レクリエーション協会

■フェイスペイント、グリッター外ウー体験

カナダ在住のフェイスペインターによるフェイスペイントとグリッター外ウー（ボディジュエリー）体験を実施。

・実施日：2019年5月3日（金・祝）

・参加者：30名

・料金：500～1,000円

・実施：鈴木えみり

■ボードゲームフェスティバル

幅広い世代の方が楽しめるボードゲーム体験会を開催。

・実施日：2019年5月3日（金・祝）

・参加者：80名

・実施：北三陸アナログゲームズ

■レトロゲームコレクション展4

レトロゲーム展示、スタッフが作ったゲームを大画面で遊べるエディットゲーム大会や、ゲーム制作ワークショップを実施。

・実施日：2019年5月3日（金・祝）～5日（日・祝）

・参加者：1,250名（3日間合計）

・実施：RFユニット／LIGHT MAGIC

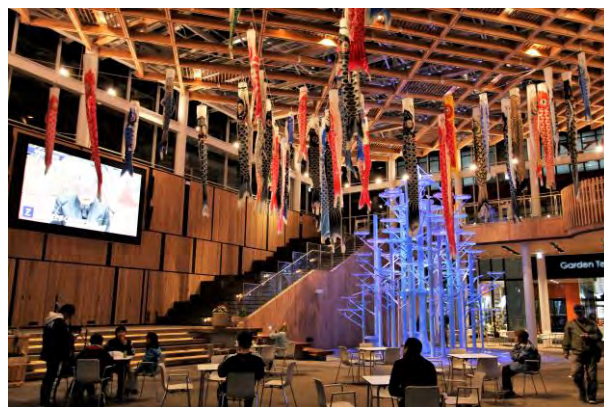
■虎舞になって写真を撮ろう

虎舞の衣装をかぶって、持参したカメラで写真撮影。

・実施日：2019年5月3日（金・祝）～5日（日・祝）

・参加者：206名（3日間合計）

・協力：内丸親睦会



市民のみなさんから寄付いただいたこいのぼりがマチニワを彩る

■消防体験ひろばinマチニワ

ミストドラゴン・ミニ消防車の展示、顔出しパネル、消防団のPRコーナー、防火映像鑑賞、応急手当体験、防火衣空気呼吸器着装体験を実施。

- ・実施日：2019年5月4日(土・祝)～5日(日・祝)
- ・実施：八戸消防署

■みんなのものづくりミュージアム

大人から子どもまで簡単に挑戦できる筆ペンクロッキーなどの創作ワークショップを実施

- ・実施日：2019年5月4日(土・祝)～5日(日・祝)
- ・参加者：96名(2日間合計)
- ・実施：新美術館建設推進室

■マジシャンと遊ぼう

八戸で活躍するマジシャン、ケンシラハタさんがマジックを披露。

- ・実施日：2019年5月4日(土・祝)
- ・出演：ケンシラハタ
- ・参加者：110名

■八戸いちごぶつぶジュース作り

八戸いちごを使ったジュース作り体験。

- ・実施日：2019年5月5日(日・祝)
- ・参加者：16組
- ・料金：500円(こいのぼりクッキー付き)
- ・実施：照井美由樹(very berry +)

■スタチューをデッサンしよう

スタチュー(人間彫像)をデッサンするワークショップを実施。八戸工業大学第二高等学校美術コースの生徒7名がサポートとして参加。

- ・実施日：2019年5月6日(月・振)
- ・出演：ミドリマン
- ・参加者：15名
- ・協力：松本秀樹(八戸工業大学第二高等学校)

■こどもはっち写真展

「ふたごプラスそっくり家族大集合！」の参加者の写真を展示。「そっくり大賞」を決める投票を実施。

- ・実施日：2019年5月1日(水・祝)～6日(月・振)
- ・実施：NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)

■ファミリー運動会

赤ちゃんによるハイハイレースやパン食い競争など親子で参加できる運動会を開催。

- ・実施日：2019年5月6日(月・振)
- ・参加者：44組
- ・料金：200円
- ・実施：NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)



マジックにチャレンジする子どもたち



真剣ながらも笑い声あふれるこども演劇体験



おしゃれなフェイスペイントをして中心街へ繰り出そう！



外国人にも大人気の虎舞

はっちの七夕2019

七夕に願いをこめて



解放空間を活かしたマチニワでのお茶会、八角形の灯籠制作ワークショップと展示、短冊コーナーなど、七夕を満喫できる企画を実施。大鍋ブイヤベースをはじめとするブイヤベースレストランでは、シェフのこだわり料理が提供され、市民の笑顔が見られた。

■はっちの市民たんざくコーナー

願いを込めた短冊を笹に結んで展示。

- ・実施日：2019年7月1日(月)～15日(月・祝)
- ・参加者数：1,880名

■灯籠を作ってはっちに飾ろう！

八角形の灯籠を作成するワークショップと展示。

- ・実施日：[ワークショップ]2019年7月6日(土)、8日(月)
- [展示]2019年7月12日(金)～15日(月・祝)
- ・参加者：18名(ワークショップ)

■ブイヤベースレストラン in はっち

地元八戸の魚介を使った大鍋ブイヤベースなどシェフこだわりの料理を提供。3年ぶりに大鍋が復活した今年度は、参加店舗が考案した魚介コロッケをイベント限定で提供。

- ・実施日：2019年7月13日(土)～14日(日)
- ・実施：八戸ハマリレーションプロジェクト
- ・入場者：約8,000名
- ・料金：八戸ブイヤベース800円、魚介コロッケ250円
- ・提供数：八戸ブイヤベース1日500食 合計1,000食

■たなばた茶会

夜空を眺めながら、マチニワで初めてのお茶会を実施。

- ・実施日：2019年7月13日(土)
- ・実施：茶道裏千家淡交会青森青年部
- ・参加者：200名
- ・料金：300円

■まるごとこどもはっち夏まつり

全館がまるごとこどもはっちに！お祭り屋台コーナーやこども商店街など、親子で楽しめる多数のイベントを開催。

- ・実施日：2019年7月15日(月・祝)
- ・実施：NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)
- ・入館者：約6,000名

〈「第67回八戸七夕まつり」関連イベント〉

○八戸小唄広場

- ・実施日：2019年7月12日(金)

○八戸七夕まつり市民制作飾りつけ展示

- ・実施日：2019年7月12日(金)～15日(月・祝)



夜空を眺めながら・・・マチニワでお茶会



今年も食べにきたよ！八戸ブイヤベース



リスさんとうたのお姉さんのステージ！こどもはっち夏まつり

はっちのお化け屋敷

驚きと怖さで最高に楽しいぞ～！

普段体験できない恐怖を、お化け屋敷として取り入れることで、イメージを豊かにするきっかけとなった。

■はっちのお化け屋敷「ゾンビが出るぞ～」

屋敷内をさまようお化けのパフォーマンスで、恐怖を体験。

・実施日：2019年8月13日(火)～15日(木)

・協力：コスプレイヤーズ・レビュー

・入場者：556名(3日間合計)



泣きながらゴールする子どもや、リタイアも続出！

はっちのクリスマス2019

ワクワク感が高まるイルミネーション
をまちなかに！

はっちのクリスマスイルミネーションは、開館以来初めて光の点滅可能なモチーフを使用。マチニワのバルーンデコレーションは高校生をはじめ、友人・恋人たちのフォトスポットとなった。

■マチニワバルーンデコレーション展示

マチニワの水の樹の周りにクリスマスカラーのバルーンを設置。

マチニワ全体を昼夜ともに明るく彩った。

・実施日：2019年11月29日(金)～12月25日(水)

■はっち外壁イルミネーション

はっち外壁にクリスマスツリーとサンタクロースをモチーフとしたLEDイルミネーションを設置。

・実施日：2019年12月1日(日)～25日(水)

■はっちひろばツリー展示

はっちひろばにLEDライトのツリーを設置。

・実施日：2019年12月2日(月)～25日(水)



サンタクロースのバルーンは何体あるかな？



中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのお正月2020

お正月らしいイベントで
にぎやかに新年の幕開け！

書道パフォーマンス、新春空手、民謡・手踊り、法霊神楽一斉歯打ちなど、お正月らしいステージイベントに多くの来館者が詰め掛け、賑やかな一年の始まりとなった。

■ステージイベント

日本空手協会八戸中央支部、ストロベリームーンが、はっちのお正月に初出演し、ステージイベントを盛り上げた。

・実施日：2020年1月2日(木)

・入場者：約350名

○書道ガールズ・パフォーマンス

・出演：八戸東高等学校書道部、八戸高等学校書道部

○新春空手演武

・出演：日本空手協会八戸中央支部

○法霊神楽一斉歯打ち

・出演：おがみ神社法霊神楽保存会

○小学生アイドルユニットステージ

・出演：ストロベリームーン

○はっちのお正月に「民謡一座」がやってきた！

・出演：小坂勝義・小柴社中一座

■色とアートのお正月

お正月にふさわしい彩りのあるアート作品を展示。

・実施日：2020年1月2日(木)～12日(日)

・実施：浅川ふさこ(色とアートのアトリエfeel主宰)

■はちのへ中心商店街のお正月2020「迎春お振る舞い」

マチニワとパティオ13(三春屋南口広場)にて各品先着100名に甘酒・お汁粉・日本酒のお振る舞いを実施。

・実施日：2020年1月2日(木)

・実施：八戸中心商店街連絡協議会、八戸商工会議所、株式会社まちづくり八戸

・参加者：500名



無病息災に願いを込めた法霊神楽一斉歯打ち



毎年恒例の迫力ある書道パフォーマンス



アート作品「奇蹟の花」の展示

中心市街地
賑わい創出
事業

まちぐみ事業

市民の「やってみたい！」を
“まちぐるみ”でサポートし、
「なんかおもしろい」を創り出す



アーティストの山本耕一郎さんがプロデュースし、八戸で暮らす人々の「やってみたい！」を“まちぐるみ”でサポートしてカタチにする市民集団「まちぐみ」。「はっちのイスに南部ひしざし体験」や「高校生とつくる南部せんべいカフェ」など、思いがけないアイデアで八戸のまちをちょっとずつ楽しくするプロジェクトを実施。

■まちぐみ運営

本八戸駅通りにある「まちぐみラボ」がまちぐみ組員の活動拠点。新しい組員も随時募集しており、2019年度は新たに32名が加入した。ニックネームとまちぐみで活かしたい得意技等の登録で誰でも加入可能。(1,000円でTシャツ購入、顔写真撮影あり)。

■まちぐみpresents はっちのイスに南部ひしざし体験

はっちの椅子に南部菱刺しを施す市民参加型アートプロジェクトを実施。市民や観光客が、南部地方の伝統工芸「南部菱刺し」に気軽に触れられる機会となっている。

・実施日：2019年5月19日(日)、6月16日(日)、7月21日(日)、8月18日(日)、9月15日(日)、10月20日(日)、12月15日(日)、2020年1月19日(日)、2月16日(日)、3月15日(日)

■高校生とつくる南部せんべいカフェ

八戸の「南部せんべい」をテーマに、高校生のアイデアを活かしたメニュー開発やワークショップなどを実施し、高校生が中心となり運営するカフェを中心商店街のイベント「はちのへホコテン」や「まちぐみ展5」などでオープン。

・実施日：
「はちのへホコテン」2019年5月26日(日)、6月30日(日)、9月29日(日)、10月27日(日)
「Music Lovers meeting in八戸」2019年7月14日(日)
「八戸南部せんべいマルシェ」2019年8月25日(日)
「寿楽荘夏祭り」2019年9月7日(土)
「まちぐみ展5」2020年2月29日(土)、3月1日(日)
※3月7日(土)、3月8日(日)、3月14日(土)、3月15日(日)
も実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

■まちぐみ展5

2019年度のまちぐみの活動内容をわかりやすく展示。まちぐみ組員らが投稿したSNSの記事を通じて2019年度の活動の振り返りや、本八戸駅通り等に設置予定であるのぼりの制作体験を実施。また、2月29日(土)と3月1日(日)には「高校生とつくる南部せんべいカフェ」を実施。

・実施日：2020年2月29日(土)～3月15日(日)

※3月10日(火)は休館日

■中心商店街との連携企画

まちぐみラボが立地する本八戸駅通りにおいて、本八戸駅通り振興会とまちぐみが連携した企画を開催。

1. 本八戸駅通りおもてなし事業 はちのへのうわさふきだし&のぼり設置
・実施日：2019年7月26日(金)～7月29日(月)
2. 内丸喫茶酒場
・実施日：2019年8月4日(日)、9日(金)、10(土)
2020年2月17日(月)～2月20日(木)
3. 第3回本八戸駅通り「タぐれ市 & フリーマーケット」
・実施日：2019年12月1日(日)
4. 第3回本八戸駅通り地区トレジャーハンティング
・実施日：2019年12月8日(日)



まちぐみ展5では、のぼり作り体験も実施

はっちプロジェクトDASHIJIN

八戸三社大祭の山車を
造形する市民力で
八戸固有の物語が浮かび上がる

八戸三社大祭の山車の造形力という地域資源に光をあてるアートプロジェクト。2019年度は、市民が山車小屋を訪問し、実際にお祭りの山車の装飾に使用されるパーツの制作体験を行うツアー「DASHIJINなりきりツアー」を実施した。また、市民・山車組関係者・アーティストの協働による造形物制作ワークショップを2020年3月に予定していたが、新型コロナウイルスによる影響により中止となった。



■DASHIJINなりきりツアー

八戸三社大祭に向けた制作を行っている山車小屋を訪問し、山車の装飾に使用される部品を山車組と一緒に制作した。

・実施日：2019年6月～7月(全6回)

・協力：市内各山車組(吉田産業グループ山車組、十一日町龍組、内丸親睦会、糠塚附祭組、十六日町山車組、朔日町附祭、吹上山車組、下大工町附祭若者連中、塩町附祭組、新荒町附祭若者連)

・参加者：約98名



塗装に欠かせない紙はり作業に初めて挑戦!!



ひとつひとつ集中して発泡スチロールをやすりがけ!



山車組の人に教わりながら作業する子どもたち



子どもから大人まで、年齢関係なく山車制作が体験できる



文化芸術
活動支援
事業

わび
和日カフェ
～日本文化に親しむ日～
気軽に日本文化を楽しめる場を

日本文化に親しんでもらうため、日本の文化や伝統を気軽に楽しめる企画を実施する個人・団体を募集して開催した。

■2019年4月21日(日) 172名

○こけ玉・ミニ盆栽づくり体験

こけ玉やミニ盆栽の制作体験及びミニ盆栽や苔玉の販売。

- ・参加者:30名
- ・料金:1,000円
- ・実施:Floresta Azul～青い森～

○カラー墨流しのオリジナル御朱印帳づくり

「墨流し」技法によるマーブル柄などのオリジナル御朱印帳作成体験。

- ・参加者:20名
- ・料金:1,000円
- ・実施:くるみのひろば

○和の伝統技法で、大切な器が、布が生まれ変わる！

着物生地のはぎれなどでブローチやかんざしなどのアクセサリを作る「つまみ細工のアクセサリづくり」と、参加者が持参した器を伝統技術「金継ぎ」で直す「加工漆で気軽に金継ぎ」を実施。

- ・参加者:22名
- ・料金:500円～(つまみ細工)、3,000円(金継ぎ)
- ・実施:花鳥風月堂、Stained glass～komado～

○花見茶席

春をテーマにお茶席とお菓子箱づくり及び折り紙づくり体験を実施。

- ・参加者:100名(お茶席)
- ・料金:300円
- ・実施:江戸千家岩手不白会中丸社中

■2019年6月16日(日) 198名

○小紋や紬の着物(普段着物)を着てみましょう

～はっちの和日カフェに着物で参加してみましょう～

着物の着つけ体験と帯結び・着物の着方展示を実施。

- ・参加者:20名(体験)
- ・料金:500円(体験)
- ・実施:山路利津子着つけ教室講師会

○水戸黄門になってみませんか？テレビドラマの作り方

水戸黄門扮装や殺陣体験と時代劇講座を実施。

- ・参加者:約40名
- ・実施:楽しい時代劇講座の会

○紫陽花茶席 ～心静かにいっぶくいか～

お茶席と座禅体験を実施。

- ・参加者:138名
- ・料金:400円(お茶席)
- ・実施:茶道宗徧流青森支部

■2019年8月18日(日) 158名

○南部菱刺しで小物を作ってみましょう

～まずは小さな「菱」ひとつ～

南部菱刺しの体験と作品を展示。

- ・参加者:20名(体験)
- ・料金:1,000円(体験)
- ・実施:南部菱刺し工房アトリエ縹HANADA

○合気道って何？ 武は愛なり ―現代に生きる武道

合気道体験を実施。

- ・参加者:約60名
- ・実施:合気道八戸道場

○冷たいお抹茶でひとときの涼を ～庶民の茶道を日常生活に生かして～

お茶席とお茶花体験を実施。

- ・参加者：78名
- ・料金：400円(お茶席)
- ・実施：江戸千家不白会八戸支部

■2019年10月20日(日) 158名

○さをり織りグループ「わだち」作品展

さをり織りの体験と展示・販売を実施。

- ・参加者：8名(体験)
- ・料金：500円(体験)
- ・実施：さをり織りグループ「わだち」

○透けて光るお手玉づくりと蓮の古布細工

お手玉づくり・蓮のオブジェづくりワークショップとお手玉展示を実施。

- ・参加者：約20名(ワークショップ)
- ・料金：500円～(ワークショップ)
- ・実施：癒しサロン いちやりば・おはな

○ふだん着物と和の時間を楽しむ

着付けや飾り紐づくり、水引細工、アロマストーンづくり、つまみ細工の体験を実施。

- ・参加者：24名
- ・料金：500円～
- ・実施：彩-irodori-

○祝いの秋、一服を楽しむ

お茶席を実施。

- ・参加者：106名
- ・料金：400円
- ・実施：表千家青森県青年部

■2019年12月15日(日) 281名

○ふだん着物と和の時間を楽しむ

ふだん着物で和日カフェ散策や半幅帯結び、和をテーマにした小物・雑貨づくりを実施。

- ・参加者：20名、観覧者60名
- ・料金：500円～
- ・実施：彩-irodori-

○美術品を鑑賞しながらお茶をいただく

国宝・紅白梅図屏風と富嶽三十六景のレプリカを展示したお茶席を実施。

- ・参加者：186名
- ・料金400円
- ・実施：MOA美育ボランティアネット

○こんどのお正月は一味違う 一お年玉袋や箸置きを作しましょうー

鶴のお年玉袋や鶴の箸置き、ポチ袋(2種類)づくり体験を実施。

- ・参加者：15名
- ・料金：100円～
- ・実施：大嶋静子



梅雨の季節を楽しむお茶席



こけを身近に感じるこけ玉づくり体験



つまみ細工はとても細かい作業！



えい！合気道では、怪我をしない転び方の体験も



文化芸術
活動支援
事業

酔っ払いに愛を2019 ～横丁オンリーユーシアター～

横丁で繰り上げられる…
“あなただけ”の劇場へようこそ！

八戸の中心街にある「横丁」は、古くから残る路地と小さなお店が連なる、全国的にも珍しいエリア。そんな横丁を舞台に、手が届きそうな距離でパフォーマンスが繰り上げられる「横丁オンリーユーシアター」。2019年度は2週連続開催し、招聘・公募アーティスト計15組が出演。企業からの協賛金協力も増加した。

■酔っ払いに愛を2019～横丁オンリーユーシアター～

各横丁や中心街各所に会場を設けてパフォーマンスを実施。
回遊するアーティストも登場。

- ・実施日：(1)2019年10月4日(金)、5日(土)
(2)2019年10月11日(金)、12日(土)
- ・出演：(1)赤丸急上昇(ダンス)、五十嵐結也&中村理(ダンス)、演劇系、女子。(演劇)、かえるP(ダンス)、清水宏(スタンダップコメディ)、tantan(ダンス)、十日市秀悦(回遊・流し)、日比谷カタン(弾き語り)
- (2)イスマエラ(ダンス)、オナン・スペルマーメイド(ドラッグクイーンショー)、紙磨呂(マジック)、重森一(演劇)、大黒屋ぶろでゅーず(演劇)、DANCE WAG(ダンス)、CHARA DE(コント)
- ・参加者：約1,200名(4日間合計)
- ・料金：1,500円(公演鑑賞券3枚+ドリンク引換券)
500円当日券(1公演のみ鑑賞券)

〈主催〉酔っ払いに愛を実行委員会、八戸市

〈協賛〉南部電機、ムーンブラザ、オリエンタル酒販、中居食品容器、いわとくパルコ、PROA、Power stationA7(大松)、ライケット、なら弥、八戸タクシー、ビーエフエム、クラブシャングリラ、出汁おでん 蜘蛛の糸、八戸液化ガス、三八五交通、三八五観光、類家大学堂薬局、メガネの玉屋、ヤフー、フォトセンター惣門、サロン・ド・ソフィエンス、さめ八、柳にかえる、七洋、ととや烏賊煎、らぶらざ亭、エスケープ、クラブS、今川美術研究所、ノザワ、北辰工業

〈後援〉NHK青森放送局、RAB青森放送、青森朝日放送、青森テレビ、八戸テレビ放送、めんこいテレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ局BeFM、八戸中心商店街連絡協議会、八戸商工会議所、まちづくり八戸、VISITはちのへ

〈協力〉八戸横丁連合協議会



実際に営業している店舗を借り、一夜限りの「魔女が経営するバー」に見立てた演劇を披露



横丁で一糸乱れぬダンスパフォーマンス！



回遊アーティスト同士のコラボレーションが見られることも！

2019春 板橋文夫 古希祝 東北ツアーライブ 板橋文夫FIT!

楽しく、パワフルに、ソウルフルに、
自由に、美しく



ジャズピアニスト板橋文夫さんのトリオ「FIT!」と、八戸出身のトランペッター類家心平さんらによる5ピースバンドによるライブ。全国的に活躍するアーティストのライブを開催することで、質の高い芸術鑑賞の機会を提供した。

■2019春 板橋文夫 古希祝 東北ツアーライブ 板橋文夫FIT!

with 類家心平 & 高岡大祐

疾走するピアニスト・板橋文夫さんと類家心平さんら5ピースバンドによるライブ。

・実施日:2019年4月6日(土)

・出演:板橋文夫・瀬尾高志・竹村一哲(FIT!)、類家心平、高岡大祐

・入場者:49名

・料金:3,000円(当日500円増)



古希とは思えない力強いピアノを弾く板橋文夫さん

はっち8周年企画 大島亜佐子展「縫いものがたりたち」

新しい視点で過去作品と向き合える機会を



2014年度に実施したアーティスト・イン・レジデンス事業でアニメーションを滞在制作した大島亜佐子さんの作品展を実施。8周年の機会に、これまで関わりのあるアーティストと再びタッグを組むことで、新たな目で再び作品に向き合える機会を創出することができた。

■大島亜佐子作品展

2014年に制作したアニメーション「はちのへごっこ『ハマネコ』」の原画展示のほか、映像上映、布や糸を使って描く「縫い絵」の作品を展示。

・実施日:2019年8月31日(土)～9月16日(月・祝)

・入場者:約1,610名



布絵の手法で作られた「ハマネコ」の原画

■縫い絵ワークショップ

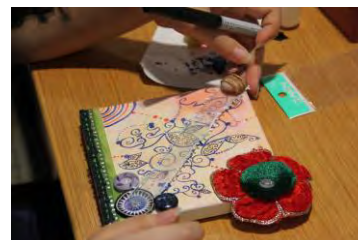
15cm四方の小さなキャンバスに、布やリボン、ボタン、絵の具を素材とした「縫い絵」を制作するワークショップを実施。

・実施日:2019年8月31日(土)～9月16日(月・祝)

・講師:大島亜佐子

・参加者:18名

・料金:2,000円



リボンやボタンで個性的な縫い絵を作っていく参加者

はっち8周年企画 Co.Ruri Mitoダンス公演

質の高い芸術鑑賞を八戸で



国際的に活躍するダンサー・振付家である三東瑠璃さんとそのカンパニーによるダンス公演を実施。質の高い芸術鑑賞の機会を八戸で提供することで、新たなファン層へのアピールとなった。

■Co.Ruri Mitoダンス公演

三東瑠璃さんのソロとカンパニーによる2つのプログラムを実施。

- ・実施日：2019年8月16日(金)、17日(土)
- ・出演：三東瑠璃、Co.Ruri Mito
- ・入場者：57名
- ・料金：2,500円／高校生以下2,000円(当日各500円増)

国内外で公演され、多数の賞を受賞した名作「MATOU」。骨、皮膚、筋肉を感じさせる繊細な表現が特徴



■「身体を探る」ワークショップ

三東瑠璃さんの特徴である身体の繊細さ・緻密さを感じさせる表現を自身の身体でわかりやすく体感するワークショップを実施。

- ・実施日：2019年8月17日(土)
- ・講師：三東瑠璃
- ・参加者：13名

自分の身体の動きに集中するダンスワークショップ



田上パル「Q学」公演

現代の10代が抱える社会的背景を
リアルに描いた青春群像劇



田上パル(主宰：田上豊さん)の演劇作品「Q学」を上演し、市民が舞台芸術作品にふれる機会となった。併せて、市内の高校生を対象としたワークショップを実施し、演劇文化の裾野拡大のきっかけになった。

■田上パル「Q学」公演

田上パル(主宰：田上豊さん)の演劇作品「Q学」を上演。

- ・実施日：2020年1月18日(土)、19日(日)
- ・出演：田上パル
- ・入場者：120名
- ・料金：2,000円／学生1,000円(当日各500円増)



上演中の様子



■ワークショップ

観劇した高校生を対象に演劇ワークショップを実施。

- ・実施日：2020年1月19日(日)
- ・講師：田上豊(田上パル主宰)
- ・参加者：21名



演劇ワークショップには、教えるだけでなく田上さん自らも参加



八戸市の市制施行90周年の年であり、「八」回目の演劇祭でもあることから、〇〇と書いてレイワと読むことができる「〇」(マル、ゼロ、レイ、エンなど読み方は自由)を全体テーマとして八戸市4劇団、青森市2劇団が短編劇を上演した。

■第八回はちのへ演劇祭

演劇初挑戦の若い劇団を含めた八戸市の4劇団と、青森市の2劇団が共通テーマである「〇」を劇中に盛り込んだ短編劇を上演。

- ・実施日:2019年12月27日(金)~29日(日)
- ・出演者:八戸学院大学演劇部、大黒屋&伊藤屋ぶろでゅーす、まぐねっと.com、空間シアター アクセプ、hit ACT project、演劇ユニット「終身雇用」
- ・入場者:416名
- ・料金:1,200円/大学生以下700円(当日300円増)

〈主催〉はちのへ演劇祭実行委員会

〈共催〉八戸市



舞台演劇初挑戦のhit ACT project



第一回はちのへ演劇祭をきっかけに結成された、まぐねっと.com



二人で同じ舞台は約5年ぶり。大黒屋&伊藤屋ぶろでゅーす



アーティストが繰り広げるさまざまなパフォーマンスを、多くの市民が堪能した。

・実施日：2019年4月～2020年3月（年間20回）

・入場者：約600名（年20回延べ）

・出演者： 4月24日 Sugar & Spice
 5月8日 美和 & Ponta
 5月22日 及川明子歌謡会
 6月12日 The Beat Wave
 6月26日 ニコ♥ニコ
 7月3日 シンデレラマジックEast
 7月17日 小泉ニロ
 8月21日 厨二病ナイト
 9月11日 Duo Piacere
 9月25日 松の実會鈴木社中
 10月9日 竹林文和with Friends
 10月23日 剣崎望
 11月13日 ワイファイセット
 11月27日 ラ・メールゆかいな歌仲間たち
 12月18日 Trio Bearissimo
 1月22日 Band-O-Age
 1月29日 前川原ちか子ショー
 2月5日 Gopers
 2月26日 Duo Moon shine
 3月25日 星川七恵（※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）



はっちがずっぱど南部弁

年に一度！
南部弁の魅力を探りましょう



青森県南地域で育まれた南部弁に温かさや親しみを感じ、楽しく交流するためのコミュニケーションツールとして後世に残すための取組として実施。

■第7回南部弁の日「はっちがずっぱど南部弁」

～うん、これアよごあんすナ～

・実施日：第1章 2019年12月7日(土)

第2章 2019年12月8日(日)※2回公演

○第1章 柗谷伸夫プロデュース「方言って楽しい」

八戸童話会・南部昔コキヤラン・八戸聖ウルスラ学院高等学校・弘前・種市・釜石の語り部。明治中学校による南部昔コ芝居「サルビカニの話」や南部弁サミットを実施。

1. 「たくさんの昔コを楽しみましょう」

・出演：柗谷伸夫(八戸童話会)、大柳悦子、千葉涼子、木下勝貴、磯崎・北村(漁火の会)、南部昔コキヤラン、八戸聖ウルスラ学院高等学校、明治中学校 1 年生

2. 南部弁サミット2019「お国ことばで川柳 方言の楽しみ(講和)」

・講師：渋谷伯龍

・出演：越前昌子、上條佳子、佐々木和子(八戸童話会)、久慈瑛子、三橋光子、藤原(漁火の会)

・入場者：270名

・協力：弘前学院大学、岩手大学

・後援：青森県教育委員会、八戸市教育委員会



○第2章 十日市秀悦プロデュース「待だせだなす！年に一度の南部弁バラエティーシアター全員集合だず！」

十日市秀悦さんがお気に入りの南部弁、南部人をはっちに集結！南部弁大好きな仲間っこ(ながまっこ)と一緒に南部弁満載のコント、トークバラエティーショーを実施。

・出演：瀬川さとし、大地球、正部家光彦、中島美華、

あどばる～ん、山田夢子、内丸親睦会、八戸東高等学校

・講師：正部家光彦

・入場者：240名(2回公演)

・料金：1,800円／高校生以下1,000円(当日200円増)





ものづくり
支援事業

はっち市2019

～はっちが
ちっちゃな街になる～

「はっちがちっちゃな街になる」をコンセプトに開催される“屋内クラフト市”。北は北海道、南は佐賀県から63店舗が出展し、はっち全館がクラフトで埋まった。9回目、令和初となる2019年度は「笑い」がテーマ。店舗それぞれが趣向をこらした魅力的な作品が出展されたほか、ライブ・トークイベント・ワークショップ等を実施。はっち向かいのマチニワには、古物中心のマーケット「Scrap Hope」が登場した。

○実施日

2019年11月22日(金)12:00～20:00
11月23日(土・祝)10:00～18:00
11月24日(日)10:00～17:00

○主催:はっち市実行委員会

○共催:八戸市

■オープニング

こどもはっち「びよびよダンサーズ」によるオープニングセレモニーを実施。

・実施日:2019年11月22日(金)
・協力:NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)
・出演:16名(1～3歳の子どもたち)

■富士正一の笑舞

舞踏家・富士さんによる、神様を笑わせる舞を披露。
・実施日:2019年11月22日(金)

■冬の外カフェ

温かいスープ・焼き芋・焼きマシュマロ等を提供する、薪オーブンを活用したカフェを展開。
・実施日:2019年11月22日(金)～24日(日)
・実施:そーるぶらんちかふえ、ウッドラック

■はっち市ラジオ局

○はっち市week

はっち市直前の1週間、出展者やものづくりスタジオ、実行委員会メンバーが生放送に出演。

・実施日:2019年11月18日(月)～22日(金)

○はっち市特番

「はっち市week」を編集した特別番組を館内で放送。

・実施日:2019年11月23日(土・祝)～24日(日)
・協力:コミュニティラジオ局BeFM

■ちっちゃな街のまなび舎～手しごと分校～

出展8店舗によるワークショップを実施。

・実施日:2019年11月22日(金)～24日(日)
・実施:赤い鳥、Wood work toto、カバン屋Brand-new Day、くらふと宮野、食品サンプル屋、デザイン工房エッセ、逃猫舎、版画工房みのむし

■ちびっこアートひろば

壁に貼り付けたダンボール作品に好きな色で自由にペインティングを楽しむコーナーを設置。

・実施日:2019年11月22日(金)～24日(日)
・入場者:1,196名

■匠の仕事場

職人の技を間近で見ることができる、職人の仕事を再現。

・実施日:2019年11月22日(金)～24日(日)
・実施:稲村幸男(五戸バオリ)、館タテグ工芸(南部花形組子)

■八戸の伝統工芸体験

南部裂織、南部菱刺しを体験できるワークショップを実施。

- ・実施日：2019年11月22日(金)～24日(日)
- ・実施：八戸南部裂織工芸「澄」/南部裂織、南部菱刺し西野刺っ娘の会/南部菱刺し
- ・料金：250円～500円

■ぼたん菓子びつ浄法寺うるしもの展～泉山恵一コレクション～

岩手県二戸地域の浄法寺漆器の展示をコレクターの泉山さんが分かりやすく解説。

- ・実施日：2019年11月22日(金)～24日(日)

■こどもはっち こども商店街

アイス屋さん、たこやき屋さん、射的、キーホルダー作り、魚つりを実施。

- ・実施日：2019年11月22日(金)～24日(日)

■オリジナルグッズ販売&いい夫婦の日グッズプレゼント

はっち市オリジナルグッズを販売したほか、「いい夫婦の日」である11月22日には、オリジナル枕カバーを先着22組に、いい夫婦証明書を先着100名にプレゼント。

- ・実施日：2019年11月22日(金)～24日(日)

■託児室

お子様連れの保護者もゆっくり楽しめるよう託児室を準備。

- ・実施日：2019年11月22日(金)～24日(日)
- ・協力：NPO法人八戸子育てメイトサロンネット「みらい」
- ・料金：1時間200円(1人最大2時間まで)
- ・利用者：64組(3日間合計)



ライブ会場は笑いのトルネードに巻き込まれたジャン♪



浄法寺地域で普段使いされていた漆器がずらり

■ハイスクール屋台

八戸近隣の高校の物産屋台が登場！

- ・実施日：2019年11月22日(金)～24日(日)
- ・実施：青森県立名久井農業高等学校(22日、23日)
青森県立八戸水産高等学校(24日)

■Scrap Hope～モノからまなぶ ゴミからまなぶ～

古物中心のマーケットがマチニワに登場。

- ・実施日：2019年11月22日(金)～24日(日)
- ・出展者数：約24店舗

■YAMのクロスボーダーサンバ

リズムを鳴らしながら館内を練り歩くミニゲリラライブを実施。

- ・実施日：2019年11月23日(土・祝)

■はっち市スペシャルライブ

ポカスカジャンによるライブを実施。

- ・実施日：2019年11月23日(土・祝)
- ・参加者：60名
- ・料金：3,000円(当日500円増)

■ちっちゃな街のまなび舎

「笑い」をトークテーマに、はっち市のちっちゃな学校で勉強会を実施。※22日(金)には、平野賢志先生による、まなび舎番外編「笑いの森」を開催。

- ・実施日：2019年11月24日(日)
- ・実施：1時間目「縄文の笑い」小久保拓也先生
2時間目「笑う宇宙」丹羽隆裕先生
3時間目「縄文に南部弁はあったのか」十日市秀悦先生



笑舞の公演終了後に、館内、マチニワを練り歩くパフォーマンス



子どもから大人まで楽しめるワークショップが人気

ものづくりの良さを体感し、 ものづくりをする人を支える

ものづくりスタジオ入居者支援のため、ものづくりスタジオを広く紹介するチラシの制作や館内表示等を活用した広報活動を行うとともに、新規入居者の募集、お祭り・ホコテン等イベントへの臨時出店を行った。

ものづくり スタジオ

■ものづくりスタジオ入居者一覧(2019年4月～2020年3月)

クラフト	工房「澄」 (八戸南部裂織)	入居中
	stones KBK (パワーストーン)	2019年8月卒業
	箱庭Ayu (ハーバリウムと雑貨)	入居中
	おもちゃハウスくれよん (手づくりおもちゃ)	入居中
	CAPRiCE (ハンドメイド雑貨)	2019年12月卒業
フード	キッチンむらた (食べるスープ)	2020年3月卒業
	CHEESE DAY (熟成チーズ専門店)	入居中
	たまに庵MA-MA (かけうどん・かけそば)	入居中
	very berry + (フレッシュジュース)	入居中



キッチンむらた
体に優しい減塩仕上の
食べる日替わりスープを提供



CHEESE DAY
さまざまな世界のチーズで
新しい味との出会いをお手伝い



たまに庵MA-MA
さっと来て、リーズナブルに
パツと食べられる



very berry +
健康と美容を考えたフレッシュ
ジュースやスイーツが楽しめる



工房「澄」
伝統技法「地機織り」にこだわった
南部裂織グッズを製作販売



stones KBK
パワーストーンを使った一点モノの
アクセサリを製作販売



箱庭Ayu
心地よい癒しの空間で
ハーバリウム体験や購入が可能



おもちゃハウスくれよん
赤ちゃんが安心して使える
布製や木製のおもちゃを販売



CAPRiCE
ドール服、布雑貨など個性的な
ハンドメイド雑貨を製作・販売

観光振興
・FMアクセス
事業

お祭りinはっち 2019

(八戸三社大祭連携事業)

八戸の夏は最高潮！
八戸三社大祭をはっちで楽しもう！



市民や観光客にとって、お祭りがもっと楽しくなる「お祭りinはっち」を実施。マチニワでの山車を展示はフォトスポットとしても大人気となった。

■三社大祭って何？騎馬打毬って何？

八戸三社大祭や騎馬打毬の歴史・見どころなどを紹介。

・実施日：2019年7月27日(土)～8月5日(月)

■山車絵・山車組のらくがき&山車飾り展示

山車制作の基となる山車絵やその前段階の落書き、山車飾りを展示。

・実施日：2019年7月27日(土)～8月5日(月)

■お囃子練習

八戸三社大祭で披露するお囃子の練習を実施。

・実施日：2019年7月28日(日)～30日(火)

・実施：朔日町附祭

■小太鼓体験「たいこでドン！」&ぬりえでお祭り体験

お囃子の練習風景を映像で見ながら、小太鼓を叩く体験を実施。三社大祭に関連したぬりえを楽しめるコーナーも設置。

・実施日：2019年7月31日(水)～8月4日(日)

・協力：八戸婦人ボランティアいちいの会

・参加者：617名

■山車展示inマチニワ

市民や観光客が間近で山車の臨場感が味わえる山車の展示をマチニワで実施。

・実施日：2019年7月31日(水)～8月16日(金)

・協力：長横町粋組

■紙で八戸三社大祭の山車づくりに挑戦

紙でつくるオリジナルミニミニ山車ワークショップを実施。

・実施日：2019年8月3日(土)

・講師：川守田大志(科学であそび隊)

・参加者：23名

■夏だ！祭りだ！ストリートライブ

「夏」「祭り」をテーマとしたストリートライブを実施。

・実施日：2019年8月4日(日)

・出演：モアえりこ、ニコニコ、和奏、横浜旭、GONZA、
フリーサウンドオーケストラ、瀬知容子

■はっちものスタ屋外出店

館内カフェ・ショップ・ものづくりスタジオの屋外出展を実施。

・実施日：2019年7月31日(水)～8月4日(日)



練習風景の映像を見ながら小太鼓体験



マチニワでお囃子を実演！



自分だけの山車をつくったよ♪

えんぶりinはっち2020

(えんぶり連携事業)

はっちが贈る“えんぶり”の魅力



毎年2月に開催される「八戸えんぶり」期間中に、えんぶり関連の企画を実施。来場者が多く人気の高い「えんぶり公演」をマチニワで初めて開催したほか、えんぶりをより楽しんでもらうため写真や人形を展示。「着つけ体験」や「えんぶりトークイベント」などの体験企画も行い、全館えんぶり一色となった。また、2017年から体験的学習活動等の休業日「えんぶりの日」となった2月17日に合わせ、えんぶりに関する基礎知識をクイズ形式で学べる「えんぶり問題」を作成・実施した。

■えんぶりミュージアム

えんぶり写真を事前公募し、応募写真とえんぶり人形作家・下崎さんの人形、つまご職人の石鉢さんのつまごを、館内マップを見ながら鑑賞できるように展示。

- ・実施日：2020年2月14日(金)～20日(木)
- ・協力：下崎雅之(人形作家)、石鉢勝憲(つまご職人)
- ・写真公募数：25名、66点

■えんぶりの口上を愉しむ

聴いても楽しめるえんぶりの歌詞やお囃子の展示。

- ・実施日：2020年2月14日(金)～20日(木)

■えんぶり写真展

2019年「八戸えんぶり写真コンテスト」入選作品24点を展示。

- ・実施日：2020年2月14日(金)～20日(木)
- ・協力：VISITはちのへ

■えんぶりシアター

1980年代と2000年代のえんぶり映像を上映。

- ・実施日：2020年2月14日(金)～20日(木)
- ・協力：総合教育センター

■えんぶり衣装着つけ体験

えんぶりの太夫・祝福芸の衣装を着て、撮影できるコーナーを設置。

- ・実施日：2020年2月15日(土)～17日(月)
- ・参加者：133名
- ・料金：1衣装300円(オリジナル手ぬぐい付き)

■えんぶり好きのトークイベント「えんぶり談議」

えんぶり好きによるえんぶりの魅力や見どころを語るトークセッションを実施。

- ・実施日：2020年2月16日(日)
- ・出演：下崎雅之(人形作家)、ニッ森護真(写真愛好家)
- ・入場者：約60名

■えんぶり組の半纏展示

マチニワ公演に出演したえんぶり組の太夫衣装や半纏を展示。

- ・実施日：2020年2月16日(日)～20日(木)

■えんぶり公演inマチニワ

1日2組(計8組)のえんぶり公演をマチニワで実施。温かい軽食などを販売する飲食ブースも出店。

- ・実施日：2020年2月17日(月)～20日(木)
- ・出店：キッチンむらた、55kitchen&DELI
- ・参加者：約2,800名(各回約350名)

■目指せえんぶりマスター！えんぶり問題に挑戦！

えんぶりの知識を学びながら問題に挑戦。基本編・マニア編を全問正解した方へそれぞれ「えんぶりマスター証明書」をプレゼントした。

- ・実施日：2020年2月17日(月)～20日(木)
- ・参加者：365名

■ミニえぼしをつくろう！

「どうさいえんぶり」と「ながえんぶり」との違いを知りながら画用紙と色紙でかわいいミニえぼしが作れるワークショップを実施。

- ・実施日：2020年2月17日(月)～20日(木)
- ・参加者：133名
- ・料金：100円
- ・協力：NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)



普段着ることのできないえんぶり衣装の着つけ体験は、毎年大人気！

全国路地サミット2019in八戸

愛される横丁・路地のロジック

全国の路地及び横丁のまちづくり関係者が一堂に会する「全国路地サミット」を北海道・東北地方で初開催し、当市の路地及び横丁の魅力を発信した。

■全国路地サミット2019in八戸

横丁を活かしたまちづくりに関する基調講演、全国各地の事例紹介、まち歩き等を実施。

- ・実施日：2019年10月5日(土)～6日(日)
- ・実施：全国路地サミット2019in八戸実行委員会、全国路地のまち連絡協議会

○「中心街まち歩き」

- (Aコース)中心市街地・横丁などを中心に案内
- (Bコース)市内の公共文化交流施設を中心に案内
- ・参加者：約50名
- ・協力：古舘光治 歴史楽者、市民ガイド八戸協会、八戸さんぽマイスター、はっちボランティアガイド

○「シンポジウム」

- ＜基調講演「路地の問いかけもの」＞
- ・講師：西村幸夫(東京大学名誉教授・神戸芸術工科大学教授)



＜パネルディスカッション＞

- ・コーディネーター：北原啓司(弘前大学大学院地域社会研究科研究科長、教育学部教授)
- ・事例紹介者兼パネリスト：
日置圭子(NPO法人 粋なまちづくり倶楽部 副理事長)、
村上陽心(NPO法人 横町十文字まちそだて会 理事長)、
田村昌弘(だいもん路地裏探偵団主宰)
- ・地元パネリスト：
今川和佳子(酔っ払いに愛をディレクター)、
月館裕二(全国路地サミット2019in八戸実行委員長)
- ・コメンテーター：西村幸夫 ※基調講演講師

○「市内視察・エクスカーショ」

- 2日目に館鼻岸壁朝市、三陸海岸復興国立公園などの視察を実施。
- ・参加者：32名
- ・料金：1,000円
- ・協力：種差海岸ボランティアガイド

オリジナルてんぽせんべい作り

はっちの観光展示屋台にフォーカス！

当館の観光展示「南部せんべい屋台」を活かした企画。地元ならではの「南部せんべい」をテーマにした体験と講座を実施し、八戸南部せんべいに関する知識を深める機会とした。

■南部せんべいを作ってみよう！

- 一丁型のせんべい焼き型を使ったてんぽせんべい焼き体験と八戸南部せんべいについての講座を午前と午後の2回実施。
- ・実施日：2019年11月10日(日)
- ・講師：田村暢英(八戸せんべい汁研究所 超ウルトラ主任研究員 八戸商工会議所 八戸の南部せんべいブランド力向上プロジェクト担当)
- ・参加者：約50名(2回合計)
- ・料金：500円(1人5枚)



南部せんべい屋台で店員さんにへんし〜ん♪



観光振興
・FMアクセス
事業

市民作家・ はっちサポーター

はっちの観光展示を支える市民力

はっちの観光展示の特徴の一つは、市民の手によるものが多いこと。1階のからくり獅子舞仕掛け時計を制作した高橋みのるさん(からくり工房工遊館)や、2階片町の朝市のミニチュアなどを手掛けたミニチュア工房ちびっ@さんの作品など館内の展示作品のほとんどを「市民作家」が手掛けている。

運営に当たり、市民作家に加え大切な担い手となっている市民が「はっちサポーター」。ボランティアで八庵にいけ花を展示したり、来館者の案内を行うガイドがはっちサポーターとして活躍している。

■八庵いけ花展示

- ・実施日：2019年4月～2020年3月(のべ4回)
- ・協力：金入陽子

■八庵色紙展示

- ・実施日：2019年4月～2020年3月(月4枚×12か月)
- ・協力：杉本敦子

○色紙展Ⅷ

- ・実施日：2019年6月19日(水)～23日(日)
- ・入場者：約1,000名



季節の花々で八庵を彩り来館者をお出迎え

■ボランティアガイド

はっちは1階から4階まで観光展示やショップなどがあり、1人で見て回っても十分楽しめる施設だが、館内にいるガイドに案内してもらくと、また違ったはっちを楽しめる。

館内案内や八戸の見どころの案内はもちろんのこと、良き話し相手にもってくれるガイドは10代から80代の幅広い世代で構成されており、研修会などで勉強しながら日々はっちを支えている。

○ガイド常駐時間 9:00～17:00



2019年7月にオープンした八戸市みなと体験学習館「みなっ知」での視察研修



夏は大道芸フェスティバル、冬はクリスマスマーケットと節分イベント、そのほかダンボール迷路と積み木で遊べる日を複数回開催することで、マチニワを「いつも何かが行われている」「訪れたい」「多世代が憩う賑わい」の場とした。

■マチニワ1周年企画 マチニワ大道芸フェスティバル
大道芸人のパフォーマンス、未就学児も参加できる体験ひろばのほか、小学生以上対象の本格的なワークショップも実施。

・実施日：2019年7月20日(土)～21日(日)

・出演：もんたくん、結城敬介、おっとちゃん、
メランコリー鈴木

・参加者：14名(ワークショップ)

■つみきであそぼう

積み木と芝生を設置し、子どもたちが自由に楽しめる場を提供。

・実施日：2019年8月22日(木)、9月23日(月・祝)

■救急フェスタinマチニワ

救急車を2台展示、心肺蘇生法、AED体験コーナー、119番通報体験コーナー、救急資材展示コーナーなどを設置。

・実施日：2019年9月14日(土)

・協力：八戸消防署救急隊

■クリスマスマーケットinマチニワ2019

クリスマスグッズ・フードの販売、ソリとナカイのフォトスポットの設置、サンタクロースによるお菓子のプレゼント、ステージイベントを実施。

・実施日：2019年12月21日(土)～22日(日)

※フォトスポットは25日(水)まで

・出演：八戸聖ウルスラ学院、倉館麻美、瀬知素子、イメルダ幼稚園、ゴスペルクワイア ONE FAMILY

・出店：アニーのお気に入り、Copain、sheep-balloon、箱庭Ayu、キッチンむらた、CHEESE DAY、55kitchen&DELI、Qoo Qoo MANIA、BEER PUB HOP BEAT、アルバジョンバス

■成人の記念に写真を撮ろう

「20」をモチーフとしたバルーンオブジェと自由に写真撮影に使える小道具を設置。

・実施日：2020年1月12日(日)～19日(日)

・協力：大村美栄子



大道芸フェスティバルでスタチューになりきる子ども



中国コマ「ディアボロ」に挑戦！



出られないほど高く積み上げた積み木

■ダンボール迷路&つみきであそぼう

ダンボール迷路と積み木と芝生を設置し、子どもたちが自由に楽しめる場を提供。

・実施日：2020年1月19日(日)

■『鬼はマチニワ！』～マチニワの節分2020～

豆すくい、ダンボール迷路でお菓子探し、鬼のサイズ当てクイズ、八戸三社大祭で実際に使用された赤鬼のフォトスポットを設置。

・実施日：2020年2月1日(土)～2日(日)

※フォトスポットは4日(火)まで

・協力：はちのへ山車振興会、朔日町附祭

■ダンボール迷路&つみきであそぼう ヒーローもくるよ！

恒例となったダンボール迷路と積み木で遊べる場の設置と、八戸市を題材としたヒーロー「シーガルマン」のショーを開催。

・実施日：2020年2月24日(月・振)

・出演：シーガルマン

■マチニワで気持ちを伝えよう！

卒業をきっかけに伝えたい大切な人へのメッセージ動画を募集しマチニワで放映。

・実施日：2020年2月29日(土)～3月3日(火)

・応募者数：5名(組)



クリスマスマーケットで大人気のソリとトナカイのフォトスポット



幼児から小学生まで大人気のダンボール迷路

マチニワ活用検討市民ワークショップ

マチニワを「場所」にするために

山下裕子さん(広場ニスト・マチニワアドバイザー)を講師に招き、「多様な世代」や「多彩な分野」の方々からの意見・提案をマチニワの運営方法に活かすための市民ワークショップを開催した。

■第7回マチニワ活用検討市民ワークショップ

マチニワオープン1周年に合わせ、2050年のマチニワはどうなっているのか、未来を担う学生を対象にワークショップを実施。

・実施日：2019年7月20日(土)

・参加者：10名

■第8回マチニワ活用検討市民ワークショップ

～八戸VS神戸 八番勝負!! まちの魅力を再発見～

神戸市職員の秋田大介さんをお招きし、まちなか広場の活用も含めたお互いの都市の自慢合戦を実施。

・実施日：2019年12月14日(土)

・参加者：約20名



グループに分かれてのワークショップ

38 Fuud Food MARCHE 2019

風土と食と音のマルシェ

八戸圏域連携中枢都市圏を構成する8市町村の参画のもと、マチニワにおいて、風土と食でつながる地域の生産者による「マルシェ」と、アンバサダー(地元料理家)による「シェフズキッチン」を開催。

■38 Fuud Food MARCHE 2019

- ・実施日:2019年9月7日(土)~8日(日)
- ・共催:八戸圏域連携中枢都市圏構成町村
- ・入場者:約1,500名

○マルシェ(17店舗)

八戸圏域連携中枢都市圏の農産物及び加工品の販売、地元飲食店による圏域市町村の食材を使用した料理を提供。

○シェフズキッチン

アンバサダーシェフによる圏域の食材を使った料理の提供
・アンバサダーシェフ:豊川智(origo)、石橋圭太・麻梨子(Rapport Kitchen)、橋 竜斗(zuppa)

○ライブキッチン

・アンバサダーシェフの料理の様子を、大型ビジョンへ映して解説。



○ライブ

・Chiharu & Tyler、さすらうず

○イート風土はっち

館内の飲食店が、通常営業の中で圏域食材を使ったメニューを提供しコラボ参加。

・参加店:キッチンむらた、CHEESE DAY、very berry+、たまに庵MA-MA



ライブキッチンの様子を大型ビジョンで放映

令和元年度八戸市 マチニワ活用事業補助金

マチニワ活用者をサポート！

10月~3月にマチニワで行うイベントを対象に事業を募集・選考し、1件20万円を上限として補助金を交付。4件の事業が補助金の交付を受け、イベントを実施した。



■茶居花市inマチニワ

障がい者の社会参加及び啓蒙活動を目的として、音楽から飲食まで実施し、幅広い年代の方がイベントを楽しんだ。

- ・実施日:2019年10月19日(土)
- ・主催:社会医療法人 松平病院
- ・後援:八戸市、青森放送株式会社、デーリー東北新聞社

■キッズフェスイベント

家族で楽しめるステージや物販、ワークショップを実施し、飲食を提供するなど、子育てをする上での繋がりを創出。

- ・実施日:2019年12月8日(日)
- ・主催:キッズフェス実行委員会
- ・後援:八戸市

■まちなか冬マルシェ♪inマチニワ vol.1 & vol.2

ハンドメイドや飲食の出店者を募集し、ステージイベントやビンゴなども行った。

- ・実施日:2019年12月15日(日)、2020年2月9日(日)
- ・主催:みちのくりサイクル運動市民の会
- ・後援:三日町三栄会、新郷村村魂祭実行委員会

■アクセシビリティ推進事業

重度身体障がい者をサポートしている支援機器やその開発者の紹介と視線入力でのe-sports大会を実施。

- ・実施日:2019年3月7日(土)
- ・主催:IOCK(アイコミュニケーション研究会)
- ・後援:デーリー東北新聞社、コミュニティラジオ局BeFM

はっちリレーショナル・プレス はちみつ

このまちがもっと、このまちらしく
輝くためのソウゾウ開花
「はっち」が贈る、おいしい情報

はっち開館前の2010年から発行している「はちみつ」。はっちの館内や中心街の様子、市内の新しい情報を発信。2019年度は、八戸まちなか広場マチニワの1周年や2019年秋に中心街にオープンした八戸市長根屋内スケート場「YSアリーナ」を特集。中心街と市内外の公共施設にも配布。はちみつを見て来館するお客様も多く、八戸に興味を持ってもらうツールの一つとなっている。

- ・発行部数: vol.34・35 各15,000部
- ・仕様: B4判8ページ2つ折、フルカラー
- ・配布先: 中心街約150か所、その他市外約390か所に配布
- ・発行時期: 2019年7月(34号)、2020年1月(35号)



マチニワ1周年と八戸市長根屋内スケート場
特集ページ

放送スタジオ 「びびすた♪」

ラジオから届け！
はっちのお知らせ情報

- ・年間出演者数: 約300名
- ・周波数: 76.5MHz
- ・放送日時: 毎週月～金 11:30～15:00
- ・協力: コミュニティラジオ局 BeFM



毎回、はっちでイベントを開催する主催者がゲスト出演し、楽しいトークを繰り広げる

「ラジオ」という顔が見えず音だけを頼りに情報をキャッチするもの。「どんな人なのだろう?」「どんな空間で放送しているのだろう?」とワクワクするのもラジオならではの楽しみ方一つだが、はっちでは1階のガラス張りの放送スタジオで公開放送しているので、スタジオの前に立てば、ラジオで話している様子を直接見ながら楽しむことができる。「送り手と聴き手が空間を共有できる」はっちのラジオ放送スタジオをぜひ覗いてほしい。

また、番組中は、はっちや中心街で開催するイベントを告知するコーナー「はっちi(インフォメーション)」があり、イベントの実施者が自らラジオに出演し、宣伝・PRを行っている。



貸館事業

市民のみなさんの 活動・交流の場

はっちの三大事業の一つである貸館事業。市民がはっちを利用して、さまざまな催し物を開催しており、毎年開催される恒例イベントも増加している。各施設の特徴や利用事例を紹介。



1F はっちひろば

3階まで吹き抜けの開放的な空間。作品展示・ステージ発表・講演会など多目的に使用可能。



1F シアター1

音響設備やピクチャーレール・ライトなどを用意しており、講演会・作品展示などに利用されている。



1F ギャラリー1

ピクチャーレール・展示用照明がある展示スペース。はっちひろば、シアター1と組み合わせた利用も可能。



2F シアター2

音響・照明設備・大型スクリーンがある多目的ホール。楽屋も完備され、ライブ・演劇などに利用されている。



2F ギャラリー2

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。(37㎡)



3F ギャラリー3

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。(44㎡)



3F 和のスタジオ・八庵(はちあん)

炉を備えた32畳の和室「和のスタジオ」。掘りごたつ式にもなる「八庵」を組み合わせた利用も可能。お茶席・日本舞踊の発表会・お稽古などに利用されている。



3F 音のスタジオ

ドラムセット・キーボード・アンプなど音響設備が備わっている防音室。楽器練習・バンド練習のほか、シアター2での本番前の練習にも利用されている。



4F 食のスタジオ

コンベクションオープン・炊飯器をはじめ、調理器具・調理台が備わった開放感あふれる調理室。調理の様子を映せるカメラとモニターも設置。



5F 共同スタジオ

100㎡の多目的スペース。大人数でのワークショップなどに利用されている。



5F レジデンス

約42㎡の多目的スペース。アーティストがレジデンスしていないときは、少人数の会議・セミナー、踊りのお稽古などに利用されている。

○館内の利用状況 (2019年4月～2020年3月)

スペース	稼働率※
はっちひろば	55.9%
シアター1	77.6%
シアター2	70.3%
ギャラリー1	87.7%
ギャラリー2	63.6%
ギャラリー3	39.0%
和のスタジオ	44.6%
音のスタジオ	152.4%
食のスタジオ	34.3%
共同スタジオ	26.9%
レジデンス	95.7%

※4時間以下の利用を0.5日、4時間を超える利用を1日として換算



2019年度 はっちの自主事業
(2019年4月～2020年3月)

区分	事業名	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			H31年1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
はっち 展 わ い 創 出	1) ライブラリー事業																																				
	2) 中心街連携事業 (シーズイベント等)																																				
	3) まちぐ(る)み																																				
文化 芸術 活動 振興	4) 和日カフェ																																				
	5) DASHJUN																																				
	6) 横丁活性化事業 (酔っ払いに愛を)																																				
	7) はっち市																																				
振 興 光 情 報	8) お祭り連携事業																																				
	9) 情報発信																																				
	10) 市民活動支援事業 ① 投げ銭ライブ																																				
	② その他																																				
そ の 他	11) 全国路地サミット2019 inハル																																				
	12) 地域文化・芸術活動支援事 業(田上ハル公演)																																				
	13) 8周年企画																																				
マチニワ																																					
1) 自主事業																																					

はっちの年表

2006年	9月	基本構想策定
2007年	6月	基本計画策定
2007年	10月	基本設計策定
2008年	6月	プレ事業スタート
	12月	設計変更
2009年	4月	着工
	8月	愛称「はっち」に決定
2010年	3月	正式名称「八戸ポータルミュージアム」に決定
2011年	2月	はっち開館(2月11日)
	3月	東日本大震災により臨時避難所として運営(3月11日)
		照明学会 照明普及賞受賞
		来館者数161,377人(3月31日)
	7月	八戸レビュー販売
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前24%増 中心街全体13%増
2012年	2月	開館から1年目の来館者 888,888人
	3月	来館者数100万人達成(3月27日)
		来館者数1,011,916人(3月31日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前89%増 中心街全体33%増
		グッドデザイン賞受賞(八戸レビュー)
2013年	3月	来館者数1,900,046人(3月31日)
	5月	来館者数200万人達成(5月15日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前101%増 中心街全体24%増
		グッドデザイン賞受賞(市民が地域づくりに参画できる仕組みプロジェクト)
		第33回東北建築賞受賞
		「日本建築家協会優秀建築選」100選受賞
2014年	3月	来館者数2,863,293人(3月31日)
		文化庁長官表彰受賞(文化芸術創造都市部門)
	4月	マチニワ基本構想策定
	5月	来館者数300万人達成(5月30日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前109%増 中心街全体35%増
		マチニワ活用アイデアコンペ公開プレゼン開催
	11月	第43回デューリー東北賞受賞
2015年	3月	来館者数3,846,458人(3月31日)
		マチニワ整備基本計画策定
	6月	来館者数400万人達成(6月2日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前82%増 中心街全体19%増

	11月	KIBOW 年次大会2015準優勝(まちぐみ)
2016年	3月	来館者数4,791,861人(3月31日)
	4月	第8回ふるさとあおもり景観賞地域づくり活動部門最優秀賞受賞(まちぐみ)
	6月	来館者数500万人達成(6月28日)
		地域創造大賞(総務大臣賞)受賞
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前60%増 中心街全体9%増
2017年	3月	来館者数5,735,200人(3月31日)
		マチニワ着工
	7月	来館者数600万人達成(7月18日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前91%増 中心街全体33%増
2018年	3月	来館者数6,670,219人(3月31日)
	7月	マチニワ竣工
	7月	マチニワオープン(7月21日)
	8月	来館者数700万人達成(8月10日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前59%増 中心街全体22%増
	11月	全映協グランプリ2018 CM キャンペーン部門優秀賞受賞 (88異国プロジェクト)
2019年	1月	第9回地域再生大賞 北海道・東北ブロック賞受賞(まちぐみ)
	3月	来館者数7,544,229人(3月31日)
	10月	来館者数800万人達成(10月10日)
		中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前57%増 中心街全体12%増
2020年	3月	来館者数8,359,783人(3月31日)



2019.4－2020.3

八戸ポータルミュージアム はっち の歩み

発行日 令和2年(2020年) 7月

発 行 八戸市【八戸ポータルミュージアム】

〒031-0032 青森県八戸市三日町11-1

TEL 0178-22-8228

FAX 0178-22-8808

<https://hacchi.jp>

<https://hacchi.jp>